

関西社会経済研究所資料 06-05

「受益と負担のあり方に関する研究」 中間報告書

2006年9月

財団法人 関西社会経済研究所

ISBN4-87769-090-5

目 次

歳出歳入改革を論議するに当たっての重要論点の整理（中間報告）	1
EXECUTIVE SUMMARY	3
第1部 税収予測の妥当性	6
1. はじめに	6
2. 一般会計における税収および財政収支の推移	7
3. 税収予測についての実証分析	10
4. むすび	16
第一部の図表	18
第2部 1990年代における税制改革の厚生評価	27
1. はじめに	27
2. 1990年代の所得税・個人住民税、消費税制改革の経緯	28
3. モデルの概説	32
4. 1990年代の税制改革の厚生評価	36
5. おわりに	43
補論	46